

京都教区国際協力委員会勉強会・担当者会議

わたしたちにできること

—助けを求めている隣人のために、教会は何ができるか—

京都教区国際協力委員会では、毎年小教区の国際協力担当者の集まりを行っておりますが、今年は報告だけでなく、大阪教区社会活動センター・シナピスのビスカルド篤子さんをお迎えしてお話しをうかがいます。篤子さんはスタッフとして滞日外国人の人権問題に携わり、多くの方々とともに歩んでこられました。今回は、人身取引による過酷な労働から逃げてこられたフィリピン人の方々の保護に関わってこられた体験などをお話しいただき、わたしたちにできることを考える機会にしたいと思います。担当者だけでなく、関心のある方、教会役員の方、外国籍の方など、多くの方のご参加をお待ちしています。

2016年2月27日(土)13:00～16:00

(13:00～14:50 講話と具体的提案、15:00～ 小教区・ブロックからの報告)

講師：ビスカルド篤子さん

(大阪教区社会活動センター・シナピス)

場所：カトリック八木教会(近鉄大和八木駅から徒歩5分)

参加費・申し込みは不要です。当日八木教会にお越しください。

(担当者の方へ)

小教区・ブロックの報告は A4 一枚程度にまとめたものを当日ご用意くださると助かります。

当日参加できない方で報告いただける方は事前にお送り下さい。

問合せ先・資料の送り先：

〒522-0062 滋賀県彦根市立花町2-24 カトリック彦根教会・柳本神父

電話・ファックス：0749-23-4611

メールの場合は yanagimoto@kyoto.catholic.jp をお願いします。